

京城日報

刊夕日十

●出駐軍叛軍に加擔す

應援の官軍を撃つ重慶の戒嚴
七日夜重慶に駐在する官軍の重慶第一師團守備隊、全部は革命軍に加擔し、重慶の戒嚴を破る。約百三十餘名の死傷者を出せり。重慶の戒嚴を破る。約百三十餘名の死傷者を出せり。重慶の戒嚴を破る。約百三十餘名の死傷者を出せり。

●露軍の兩地點占領

露軍はツアルトリスクを占領し又た其の西方ニヴニストの高地を占領せり。露軍はツアルトリスクを占領し又た其の西方ニヴニストの高地を占領せり。露軍はツアルトリスクを占領し又た其の西方ニヴニストの高地を占領せり。

●希臘の一島を占領す

英佛軍はエーヂアン海中の希臘シロミロー島を占領せり。英佛軍はエーヂアン海中の希臘シロミロー島を占領せり。英佛軍はエーヂアン海中の希臘シロミロー島を占領せり。

●雲貴對策

本年元旦に即位の式を挙げる可し
本年元旦に即位の式を挙げる可し。本年元旦に即位の式を挙げる可し。本年元旦に即位の式を挙げる可し。本年元旦に即位の式を挙げる可し。

●進取三路

雲貴州討伐軍三路に分ち一は貴州より前進し政府より派遣の湖南軍隊と合し一は四川より前進し主力は四川軍を以てし之に政府より派遣の軍隊と合し一は四川より前進し主力は四川軍を以てし之に政府より派遣の軍隊と合し。

●懷柔二策

一面に於ては北軍の如く進取の準備を進め、一面に於ては北軍の如く進取の準備を進め、一面に於ては北軍の如く進取の準備を進め、一面に於ては北軍の如く進取の準備を進め。

●昨年の朝鮮貿易

朝鮮貿易は輸出額八百三十萬圓、輸入額一千二百萬圓に達せり。朝鮮貿易は輸出額八百三十萬圓、輸入額一千二百萬圓に達せり。朝鮮貿易は輸出額八百三十萬圓、輸入額一千二百萬圓に達せり。

●蔡錫と唐繼堯雲南叛軍の兩首領

雲南省叛軍の首領に於いて、唐繼堯が第一、蔡錫が第二と云ふ。雲南省叛軍の首領に於いて、唐繼堯が第一、蔡錫が第二と云ふ。雲南省叛軍の首領に於いて、唐繼堯が第一、蔡錫が第二と云ふ。



●川村中將出陣

朝鮮軍第九師團長川村中將は、旅順に於て十日午前八時、大連に上陸し、同地に出陣せり。朝鮮軍第九師團長川村中將は、旅順に於て十日午前八時、大連に上陸し、同地に出陣せり。

●會議所役員會

京城商業會議所大正五年年度役員會の議決に付て、來年十二月十日午後二時、同所樓上にて役員會を開き、附屬する各事業の進行を協議せり。

●秋田調長歸任

秋田縣長大正五年年度役員會の議決に付て、來年十二月十日午後二時、同所樓上にて役員會を開き、附屬する各事業の進行を協議せり。

●輸移出入状況

本年の貿易状況を觀察するに、本年の貿易状況を觀察するに、本年の貿易状況を觀察するに、本年の貿易状況を觀察するに。

本報の定価は、一月三圓、三月九圓、六月一五圓、一年三〇圓。本報の定価は、一月三圓、三月九圓、六月一五圓、一年三〇圓。

●優良品種普及

京畿道に於て大正四年中に配與したる改良品種の普及及び水稲作付反別並に收穫高は、早稲種一萬六千四百七十八町九千九百九十九畝、中稲種一萬八千七百四十四町七千七百五十五畝、晩稲種一萬七千七百四十四町七千七百五十五畝。

●北南言語

雲南、貴州、四川方面の常政反對軍は大に振興し、地方は春秋時代以來の繁榮を呈せり。雲南、貴州、四川方面の常政反對軍は大に振興し、地方は春秋時代以來の繁榮を呈せり。

●社告

今般社龍山支局を廢止、從來同支局にて取扱ひたる營業事務は、全部本社に於て直接取扱ふ事に致し、同支局は一月十一日以後本社經理部長の領收書持參者にて御拂渡成下度候也。

日記界の權威

國民日記の特色

需要供給の原則によつて年々日記類の刊行するものも少くはないが、大方前年の體裁や編輯法を襲つて、唯月日に關係した部分の改めざるに過ぎない。言ふやうなものが多い。これでは第一一年三百六十五日毎日々々の用にならなければならぬ。坐右の友として、其の不適當である。すばらけられて了ふのは當然である。外形から言つても内容から言つても、常に清新充實を心掛けて、趣味の豊富、實用の有益、點に於て我々が活動の伴ひたるに適切ならしめねばならぬ。即ち製本及び紙質を吟味して、耐しむべき事、内容を豊富且實用のなる事、日知の資格は十分具備してゐなければならぬ。此等の資格は十分具備してゐなければならぬ。斯かる日記界の推挙を補ひ我が國民日常必須の要求に應じんとし生れたもので、以上の諸點は悉く注意を加へて、毫も遺憾なきを期したものである。先づ上等のクロス仕立ての表紙の意匠に眼を見張る間も、無開閉直ちに一枚の吸取紙が手に觸れる。これは言ふまでもなく、日記の周到なる用意の那邊まで行つて居るかを證明して餘りあるものである。それから月月初めには、廣業、清方、舊園、百種、耕花、輝方等十二篇の伯のそれ、特色ある名畫が挿入してあつて飽かず眺められる。其裏面には月々の季節式、行事、節物を面白く掲げてある。また中に進む一頁を一日に配して、其三分の二を記録の爲に残し、下方三分の一は古今東西百般の重要知識を網羅して、一日の誦讀に便し、一必要に際して、咄嗟の檢索の爲に資してある。尙其欄外には、舊曆までも書き添へてある。之れを掲載する爲には、人知れぬ非常の苦心を経たので、尙かに此日記の最大特色さへ、編輯者には考へられて居る。いふ位である。其他在來の日記類に存するものは、一とて完備してゐない。内婚の儀式、育児の榮、家庭救急療法、交際の手得、料理法、衣服の事、花卉園藝の事等、も加へた如き、如何に此日記が日本國民の家庭に言ふ事に眼目置いて、いかん言ふ事が證明される。其他重要諸規則、併年輪早見表、萬年算月表等、社會百般の事、一つとして忘れてゐるものはない。言つて可い。日記界の權威、日本國民の代表的日記と言つても、僭越ではない事を、信じて江湖に推薦する所以である。

定價金四拾五錢 郵税金八錢

發賣所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部

總督の諭告と吾人の覺悟

二、産業の發達

政施行以來、總督最も意を注
致せるは萍葉の開闢なり
れ果てし此山を如何にして我
士に答へまつらん

大君に當時の機略は新報の間も其
趣に當りたるを去らず、夙夜、天威地功に変
顧みざりて、困窮を打破し、百方
獎勵を施して以て其完全なる發
達を期するに汲たり。而かも原始
の惑を脱せざる今日の硬壁に於
ては從事する者總人口一千五百
萬八割の多きに達せり、之れ今
其ハ割の多きに達せり、之れ今
諭告中萍葉の跡地に於て
鮮に於ける旗幟の急務一にして
すべしと雖も、農耕の改善より先
しも昨年に於ては二百萬石に上
るに過ぎざりしもの。大正
四年に在りては十六萬三千町歩を算し
、其收穫高亦一千百餘萬石に激増
を見たれど、然れども内地に於ける米
の一皮當り平均收穫量は約一石七斗を
示せるに對し、平均收穫量は約一石七斗を
反當り平均一石を越えず、未開地の
開拓水利灌漑の設備に伴ふ増殖の急
務なるに在る事ながら尙ほ種子の選
良、施肥耕耘の改良に依る増收の餘
地尠からざるを知る可し

朝野の大望は其品質優良にして滿
洲大豆の如きに比すれば是量の蛋白
質を含むのみ、滋養分に富めり、併合
當時の收穫量は百八十萬石に止ま
るに過ぎず、然れども内地に於ける米
の一皮當り平均收穫量は約一石七斗を
示せるに對し、平均收穫量は約一石七斗を
反當り平均一石を越えず、未開地の
開拓水利灌漑の設備に伴ふ増殖の急
務なるに在る事ながら尙ほ種子の選
良、施肥耕耘の改良に依る増收の餘
地尠からざるを知る可し

此の蒙奉線は、彼の關匪の亂を生ぜし時に既に滿部等に進み、新民屯に砲火二十里を延長し居たり尤も關匪事件の爲めに延長工事は數年の通延を妨げられ其竣工は數年の通延を

せる所以にして其改良遂は朝
富力増進上最も緊要の事項に
財政の獨立上にも亦重大の意
を有することを得たす。

に於て總督は模範場を擴張し
窓所に支場を増設し、又各屯
其他諸種の試験機關を設置
作物に關する調査調査、並に
栽培は悉く或は種子、種苗を
し、或は種糧種食を交付せしむ
専ら農民の智識學藝に努むるを
一面に於ては道に技術官を充
都に技術員を配する等實地指導
の充實に努めて以て大に耕種

輸移出價格亦五百三十餘萬圓を
販へて貿易上重要な位置を占む
然れども品種の混淆と調製法の粗雑
とは尙ほ商品としての價值を保つに
足らざる能はず、優良品種の作
育及別が比較増進しつあるは誠に
遺憾の點なき能はず、此は種に
喜ぶ可き現象なるを以て當業者は此
際益々選種に努むると共に更に一
層、調製法改良に留意し其價值を
發揚せざる可からず

(正統年號經綏の小見出し中將樂の大體さ
は時樂の大體の誤傳に付き訂正す)

輸出入の鐵道は英
來せり。而して當時支那の鐵道は英
露兩國の勢力内に入り、英國は北
上海間の線路を有し、露國は長城以
北の線路を掌握せり。關匪鎮定後工
事を再始し、新民屯に至る新路線
約三十哩の間に、又錦州溝靜
短巨難雖も亦竣工せり。又錦州溝靜
子間の大凌河の鐵橋も工事を了へて
一九〇四年には開通せり。

前に北方鐵道と稱して其沿革を叙
來りたる線は、即ち今日の京奉線
にして、當初開闢支那の爲の開通
に當り、津浦を始め、後天津に延

[illegible]

一、乃至六分の一に及ぶものある
二、尚ほ交通は甚だしき不便を起
三、しめんに市街建築の取て不便を起
四、すべしものである、此地に木造家
五、屋の多きは材料の關係上當然ではあ
六、るが、其建築法は日本の如き木造家
七、に於て大に失ふべき點であると思
八、ふ木造家屋とて蔑視は出来ぬ此地に
九、建てられてある家屋の中には氣のき
一〇、いた市街の美觀を添ふべき建築物が
一一、建築法を參照して現在よりも更に經濟
一二、的に美觀的に且つ衛生的の木造家屋
一三、を作る事を研究せねばなるまい

此、邊公之志也 西去薺城六里、南

其邦人の前途も頗る有望であるが之
と同時に起るべき國籍問題と
種族問題とである。邦人の海外發展
の此等の問題は慎重に查議し一日
も早く決定し置く事が必要であらう
と思はれる

△對米感想 米國は厭ふ所不愉快な所とは出發前友人連より注し入せ
るに半日餘大陸を横斷して市街中に入り
て華盛頓に來り、縦有に遊ぶ米人に
に接し、米土の風物に觸れ東西三千
哩の大陸は先づ此の如しと觀念せら

此、邊公之志也 西去薺城六里、南

一、版海來、無邊風月更新新。
二、漢胡却可 高州 小
三、丙辰新年、忠勇奉公何惜身。
四、同父子孫吾臣、忠勇奉公何惜身。
五、國同心迎聖壽、七千萬是一家親。
六、松田學陽曰、句句真貫異邦之
七、母得此詩、

日 報 歌 壇

○天 報 京 城 臨
その様が須磨子のしたる朝矣
千代に似しとなふられしかな
ハツとして肩を落せばスル
羽織すべぬうたげのひまを
○い 曲 々 京 城 五橋橋
い強く思はれて居し強きよ
くも君を泣かせるかな

醒せしむるのみ。彼を最初に葬かし
 は、常徳城南青山の北に在り。其後
 唐天和十二年正月二十三日、青山の
 南に改葬せり。今傳ふ所の、唐高
 宗武則皇帝幸京師、使盧承慶の作る所の、
 李太白新墓碑の文を抄録すべし。晩
 唐歲次牛渚磯手姑熟、悅謝家青山、有
 終焉之志、望碑頂躋蹻至於此、其生也
 經綽之高士、其死也當塗之旅人也、
 按國得公之墳墓、在蒼谿邑、因令禁
 樵採、備酒餼、訪公之子孫放申慰勞、
 凡三四年、及難孫女一人、爲陳晏
 之至、一乃猶稱之妻、皆贈山貲也、
 因云先祖墓在青山、遺臣宅兆、頃屬
 抵賈路三百步、北偏谿山、即青山也
 天寶十二歲改改名焉、今士大
 夫之葬、必誌於墓、有輿服遺德之家、
 築祠堂于道、余才薄貧虛、不能兩致、
 今作新墓碑、輒刊百石、竊手泉綢
 一表于道路、亦賜置濱川之邊、庶
 芳聲之不泯焉。
 此の文によるに明かに改葬の船末を
 記す。謝公山即青山は、當塗青山
 と名け、當塗縣城の南十五支那里よ
 り三十支那里の間に、東北より西南
 に及べる高丘也。この丘山は田野の
 中に獨立し、他に連脈をなさず。一
 般に事を以て覆はれ、山骨を露出せ
 る處少なく、高度は最前百一千尺稍
 後なるべし。小生は遠望するのみに
 別あれば君はいとしも遺獨
 かの腰あけ空見入るるむ
 自らもふさめりかりいし
 君が心に住む子なりにし
 恨ましく電車の際に腰掛けて
 ぶりを思へり
 たり君をえに一筋に走り來し
 こに強く抱かまし
 寒椿
 交椿啼咲白く吐く鶯の鶯く
 病犬を勞れば鳴きぬ冬椿
 尾を振る家出犬今寒椿
 茶花
 茶の花の小鳥影を見えぬ
 春

百六番庄
△御旗少牢社

●番外 一明細帳六十金五拾引
二明細帳六十金五拾引

職人夫婦者入用 220

○鐵額軸物裝師至念入川其裝部店
一任致度し但京龍に保護人有者
龍山一丁目中古物店電話四六一番

●店入用印刻に經條ある外務234
十六七八歳の見習二名入希望者直
接來談あれし市内小橋保認人を要す
○永樂町二丁目橋本商店

得意廻り店員廿歲以上 233
市內飾賣保認人を要す本人來旅あ
京城太平通二遠藤味噌賣部
電話九八二番

京城黄金町二丁目
(永樂町御留所北入)

質 堀佐營業所 謝近火御見舞

賀舖 白川 質店
電話六三〇番

謝近火御見舞 220
京城旭町一丁目七番星
諸君印章刻刷稻村印刷
並名刺印刷

謝近火御見舞
京城旭町三丁目勘次郎
伊田屋 島田大商店
橋田屋

謝近火御見舞
京城旭町一丁目
鹽見營五郎
電話九七八番

靴 御小賢大勉勵至修理
 緊要優美且價格大廉贈
 目錄定價表 用法法律 鞋款進呈
 京城芝町廿九番電話七〇九
 ◎質 白川質店 電話六三三番
 京城旭町一ノ番五
 大久保精鹽及中古寫真機買入
 ○鋼鐵亞鉛及中古寫真機買入
 芝米乳 滋養 殊に牛乳練
 東京化學研究所 豊富の 人に適す
 所指定 東京 芝米倉町 電話 二五〇七番
 名義書換停止公告
 當銀行定款第百四條ニ依り來ル一
 月終了迄株券ノ名義書換停止主權
 會終了迄株券ノ名義書換停止主權
 大正十五年一月十一日
 朝鮮銀行

謝近火御見舞
 京城旭町一丁目
 京 佐々木 屋
 電話二五九六番

謝近火御見舞
 京城旭町一丁目
 電話二五九六番

謝近火御見舞
 京城旭町一丁目
 電話二五九六番

井上出張所
 電話三二一番

支那語 夜學生募集
英漢數
支那語漢文英語以上初歩より
數學一算術代數幾何三角御等
各專門學校入學受驗及佛科の説あり
中等教育院免許狀所有及上海東亞同
文書院商學士の試験科附任す
明治支那館箱内電話二五五一
英漢數

謝近火御見舞
大正五年一月一日
米國株式會社
ヴァキニウム
オイル、コンパニ
朝鮮代理者長尾忠
京城旭町一丁目二六番

謝近火御見舞
京城旭町一丁目
谷口綿店

謝近火御見舞
京城旭町一丁目
山田直弘

謝近火御見舞
京城旭町一丁目
重松製袋吉郎
安川喜代作
金子大次郎
吉屋染工場
電話一五七三番
大鹽時次

謝近火御見舞
京城旭町一丁目
若月胖五郎
電話三八二番

香油
一印之八

町田野國總下
釀門衛右郎七木茂
店約特
目丁一町治明
商野
番三五二話電



100

露國使節宮と京阪神

今十一日午前神戶御上陸

露國使節宮、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。使節宮は、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。使節宮は、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

御召艦の旋回場

御召艦の旋回場、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。御召艦の旋回場、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

臨時列車編成

臨時列車編成、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。臨時列車編成、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

獨探潜伏の噂

獨探潜伏の噂、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。獨探潜伏の噂、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

露太公と京阪

露太公と京阪、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。露太公と京阪、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

怒濤海兵十名を呑む

怒濤海兵十名を呑む、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。怒濤海兵十名を呑む、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

横濱港外椿事

横濱港外椿事、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。横濱港外椿事、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

雪の悲劇

雪の悲劇、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。雪の悲劇、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

英國戰艦の沈没

英國戰艦の沈没、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。英國戰艦の沈没、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

浦鹽から金銀塊

浦鹽から金銀塊、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。浦鹽から金銀塊、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

支那市場不活潑

支那市場不活潑、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。支那市場不活潑、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

此の異域に於て

此の異域に於て、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。此の異域に於て、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

自家を犠牲とせる消防夫

自家を犠牲とせる消防夫、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。自家を犠牲とせる消防夫、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

中村兵造破門の事

中村兵造破門の事、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。中村兵造破門の事、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

師匠の嚴命

師匠の嚴命、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。師匠の嚴命、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

本夫毒殺事件

本夫毒殺事件、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。本夫毒殺事件、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

花柳界大當り

花柳界大當り、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。花柳界大當り、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

草鞋泥棒處罰

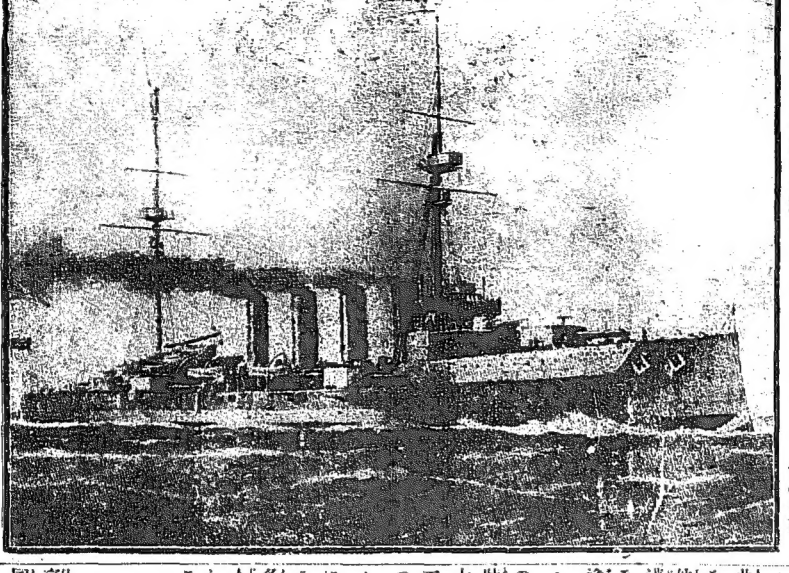
草鞋泥棒處罰、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。草鞋泥棒處罰、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

モルヒネ中毒

モルヒネ中毒、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。モルヒネ中毒、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

靴泥は懲役八箇月

靴泥は懲役八箇月、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。靴泥は懲役八箇月、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。



英國戰艦の沈没、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。英國戰艦の沈没、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

雪の悲劇、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。雪の悲劇、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

自家を犠牲とせる消防夫、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。自家を犠牲とせる消防夫、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

本夫毒殺事件、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。本夫毒殺事件、昨(十日)午後、神戶港に到着し、十一日午前、神戶御上陸。

丸見屋商店

丸見屋商店、丸見屋商店、丸見屋商店。丸見屋商店、丸見屋商店、丸見屋商店。

ミツワ水枕

ミツワ水枕、ミツワ水枕、ミツワ水枕。ミツワ水枕、ミツワ水枕、ミツワ水枕。

ミツワ椿油

ミツワ椿油、ミツワ椿油、ミツワ椿油。ミツワ椿油、ミツワ椿油、ミツワ椿油。

